

第202回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 平成26年10月9日(木) 11:00~12:00

2 開催場所 宇都宮グランドホテル

3 委員の出席 委員総数 7人  
出席委員数 6人

(1) 出席委員の氏名 片山 貴之 (委員長)  
古磯 勝子 (副委員長)  
早川 富美子  
長 茂男  
君島 理恵  
畠山 大

(2) 欠席委員の氏名 青木 敬信

(3) 放送事業者側出席者 大森 敏秋 (代表取締役社長)  
佐藤 望 (放送部長)  
古寺 雄史 (放送部課長)

4 議題 (1) 番組の試聴及び意見交換  
(2) その他  
(3) 次回開催日程について

5 議事の概要

(1) 番組の試聴及び意見交換

今年7月から放送している「清水孝宏 作用←→反作用」の9月2日放送分 及び 9月30日放送分について、試聴と意見交換を行った。

事業者

この番組は、毎週火曜日の午後8時30分から25分間放送している録音番組。

地元で活躍するシンガーソングライターの清水孝宏が、これまで影響を受けてきたり、好んで聴いてきた音楽を“作用”として紹介する一方、この企画を通して新たに出会う音楽を“反作用”として楽曲の魅力を発見・解析しながら、音楽について深く考えていこうというコンセプトの番組となっている。

【 番 組 の 試 聴 】

委員：

タイトルにインパクトがあって興味を引く。これまでに影響を受けた楽曲を“作用“という単語で定義したことに関心した。

委員：

単にお薦めの楽曲をオンエアするのではなく、楽曲の魅力をひと工夫して伝えることで番組がとても興味深いものになっている。

曲のサビで同じ歌詞を複数回反復することで印象を高める手法など、楽曲の解説はわかりやすく、なるほどと思えた。

ちょっとした音楽的な教養を身につけることが出来る、堅苦しくない音楽教養番組となっている。

委員：

清水さんのトークは安定していて、トーンやテンポもよく、聴き心地がよかった。

委員：

“作用“では、清水さんの楽曲の説明に奥深さを感じたが、コード進行について解説してみたり、今後、もっとマニアックな解説も聞きたいと思った。

一方、“反作用”は、公開収録の回は、出演した学生の解説があって分かりやすかったが、通常回では、清水さんの言葉でしか説明がなく、清水さんが説明しきれなかった楽曲の魅力を誰がどう伝えるかが課題ではないか。

委員：

曲の講評の充実が番組の性格上、最も重要であろう。

“反作用“の楽曲の解説は、”作用“のものに比べて、どうしても薄く感じられ、情報も人頼みになっていて、もの足りなさを感じた。清水さん独自の視点で思い切った解釈を期待したい。

委員：

“作用“の楽曲と”反作用“の楽曲に、特段、対になる関係性が感じられず、番組を聴き終えて、改めてこの番組タイトルを考えると違和感がある。

委員：

清水さんの講評に対するジャッジの基準があいまいだ。公開収録の回であれば、観客の反応をジャッジに反映させてもよかったのでは？

また、ジャッジを受けての清水さん楽曲のオンエアに関しては、何の説明もなく曲が流れたので、それと認識することが出来なかった。曲を流す前に一言紹介をしてみてもどうか。

委員：

この番組の中で、たびたび名前を耳にしたディレクターの村上さんとはどんな人物か？

事業者：

番組制作会社ブルービートの代表であり、各局で人気番組の制作を自ら担当している。

出演者とうまくコミュニケーションをとりながら、制作側と出演者のやりたいことを一致させた一体感のある楽しい番組作りには定評がある。弊社の若手制作者にとっても良いお手本であり、刺激となっている。

委員：

他局の深夜の有名番組のテーマソングを、この番組でもオープニングテーマとして使っていたが、どうしてもその番組の方のイメージが強いため、別な曲をテーマに選んだ方がよかったのでは？

また、“反作用”で取り上げる楽曲の投稿を呼びかけていたが、時代の趨勢に合わせて、メールでもメッセージを受け付けてほしい。

事業者：

そういった意見は当然あると思う。しかし、制作陣はラジオならではの音楽トーク番組としてクラシックなスタイルにこだわって作りたいという想いがあり、オープニングテーマもメッセージの受付方法でもそういった意向を反映している。局としては、そうした制作側のこだわりを今後も尊重したい。

委員：

そうした番組へのこだわりや想いは分かったが、この放送を聞いた誰もがそれを理解出来るよう、番組の中でうまく伝えてほしい。

委員：

比較的短い放送時間の中でも、かなり奥深い音楽紹介も聴けて、斬新な番組だ。  
他の人がいいと思って聴いている音楽を、我々も聴いてみようと考えさせられた。  
今後のこの番組のさらなる内容の充実を期待したい。

(以上)

## (2) その他

「日本民間放送連盟 放送基準」が一部改正されるのに伴い、弊社 番組基準の改正が諮問され、「妥当である」との答申があった。それを受けて、同日、放送番組の編集の基準を変更した。

## (3) 次回開催日程について

次回の開催を11月6日(木)とすることについて、全出席委員の了解を得た。

6 答申または改善意見に対してとった措置および年月日  
なし

7 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日

(1) 放送 10月26日(日)午後7時55分の「レディオベリーインフォメーション」内

(2) 書面 本社事務所に備え置き

(3) インターネット エフエム栃木ホームページ内

8 その他の参考事項  
なし